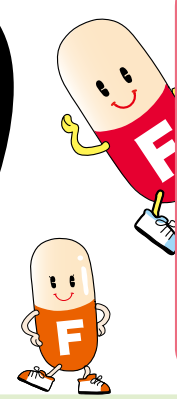
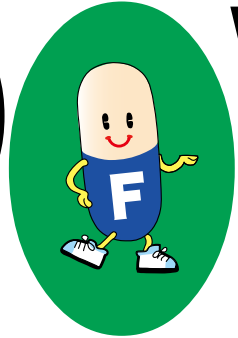


POWER!



2019年
3月
vol. **62**

平成31年(2019年)
3月20日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-3
四谷トーセイビル2階
TEL (03) 3225-3100
FAX (03) 3225-3200

発行月 ● 隔月発行

<http://www.yakuren.jp>

本田あきこ副会長、 全国訪問の旅



第十三弾

順調に四国・九州ブロックでの支部訪問活動を展開中!

本田あきこ副会長は、平成最後の年に入り、四国・九州各県の支部訪問を開始した。

●福岡県 (1月21日～25日)

薬局、卸等、訪問施設数は151、握手ができた人数は2149人。21日の夜開催された「薬局における安全管理体制の整備」に関する研修会に参加し、日薬の災害対策委員の立場で発言する機会を得た。

●愛媛県 (1月28日～30日)

28日午後から活動を開始し、30日午後高知県に引き継ぎをした。昨年の西日本豪雨で大きな被害を受けた大洲、宇和島地区を訪問するとともに、今治市では薬剤師である菅市長を表敬訪問した。握手した人数は511人。

●高知県 (1月30日～2月1日)

30日午後から高知県の支部訪問が開始され、薬局、卸等を訪問した。地元卸の朝礼ではメーカーの社員も参加し、350名の前で挨拶を行うことができた。31日の夜には、薬剤師連盟及び関係団体の連絡協議会が開催され、意見交換を行った。3日間で1000名を超える方々と握手をすることができた。

●鹿児島県 (2月4日～8日)

二度目の支部訪問となったが、前回急な日

●佐賀県 (2月12日～15日)

佐賀県は2月末時点で、支援者名簿の収集において紹介者の達成率、総支援者数の達成率とともに100%を超え、全国トップとなっている。訪問活動もハイペースで行われ、訪問施設数は228、握手した人数は973人。唐津市では薬剤師の峰市長を表敬訪問した。

●長崎県 (2月19日～22日)

18日夜に五島支部に入り語る会に参加した。19日より五島市、長崎市、諫早市、大村市、佐世保市の薬局、卸等を訪問した。長崎では集会、諫早では女性セミナー、佐世保では「本田あきことその仲間のこと」が開かれた。握手した人数は995人。

女性。パワー全開!

本年も各地で女性の集いが開催され、女性。パワーへの期待が高まっている。



●高知県薬剤師会女性部会・女性薬剤師会合同勉強会 (1月30日)

支部訪問初日の夜に開催された勉強会に参加し、薬を通して地域住民の安心・安全な生活に貢献する上で女性の役割が大きいこと、そのためには



●九州ブロック女性の集い (1月20日)

九州各県と山口県から約100名の女性が参加。すっかり定着したSomething Orangeで大変盛り上がった。この言葉は、昨年のJPLフォーラムで九州のテーマから生まれたこと。本田副会長からは、女性薬剤師の働き方改革に向けた



●奈良県薬剤師連盟女性・若手薬剤師フォーラム (2月17日)

本田副会長は、熊本から奈良に異動し、「薬剤師の代表に求めること」をテーマにSGDが行われている会場に駆けつけた。各テーブルを回る



●熊本県薬剤師連盟女性部会イベント (2月17日)

イベントでは女性のマナーについての専門家の話を聞いた後、「今日からできる連盟活動」をわたりとちと政治」をテーマとして、SGDが行われた。本田副会長は、冒頭で



●中国ブロック女性フォーラム2019 (2月3日)

本田副会長は、岡山県で開催されたフォーラムでは「なぜ私が政治活動を行うようになったか」との演題で30分の講演を行うとともに、参加者によるスモールグループディスカッション(SGD)の結果報告を聞いたうえで、総括を行った。



●城西大学薬学部 (2月18日)

来年度の実務実習に入る4年生を対象に、外部講師として講義を行った。大学から「災害時の薬剤師の役割」とのテーマをいただき、熊本地震での体験をもとに講義を行った。学生は非常に真剣な眼差しで講義を受けていた。



●医療現場で使えるメイクアップセミナー (2月20日)

諫早市のホテルで、メイクアップ、ヘアアレンジのコツを学ぶセミナーが開催され、約80名の女性が参加した。専門知識の習得のみならず、人と接する職業人として女性に役立つイベントとして開催された。本田副会長は講演のほか、メイクアップのモデルの役

再び薬学生とのふれあい!

これまでの薬科大学・薬学部での講義の状況については、先月号のPOWER!(号外)で紹介したが、その後、城西大学薬学部においても講義を行う機会が得られた。

女性薬剤師の働き方改革が必要であることなどについて講演を行った。

それぞれのグループから意見と要望が記載された手紙を受け取った。



見せます! 女性の本気!! JPLフォーラム開催される!

平成31年2月11日(月・祝)、スクワール麹町において、JPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2019が開催された。今回のテーマは「DO MY BEST "10・70・30"」見せます! 女性の本気」。小屋敷企画実行委員の司会のもと、山本会長、近藤日本女性薬剤師連盟会長、とかしきなほみ衆議院議員から挨拶があった。とかしき議員からは、国は女性議員を必要としている、女性の力で本田あきこ副会長を支援していただきたい、そして女性薬剤師に地方議員としてもどんどん参画していただきたいと挨拶があった。

証を受け取ったことを含めた本田あきこ副会長の挨拶の後、ブロック別に分かれスモールグループディスカッションを行った。

今回の出席者は原則一年前の同フォーラムの参加者となっており、一年前のフォーラムでそれぞれが打ちたたしたスローガンを目標にこの一年間の活動とその成果、問題点の抽出を事前に報告していただき、その解決策、今後の具体的な活動について議論した。同じブロックの中でも活動が盛り上がっている支部、女性薬剤師に本田あきこの名前がまだ浸透していない支部など、差があることが明確になったが、ディスカッションは大変盛り上がった。最後に岩本幹事長による総評、安東副会長の引き続きの支援を呼びかける閉会の辞により散会となった。

選挙 year といわれる本年、統一地方選挙、参議院選挙それぞれの地域において都道府県薬業連盟、更には日薬連盟と連携して強固な連盟活動が必要とされる。



●カーネーショングループ
期日前投票の必要性を訴えよう!



●カトレヤグループ
女子会を開催しよう!



●スイートピーグループ
名簿収集は薬局回りで!



●スズラグループ
班長の意識向上を図ろう!



●すみれグループ
従業員・実習生にも動きかけを!



●たんぼぼグループ
地方議員の応援をもらおう!



●マーガレットグループ
比例選の投票方法を教えよう!



●ゆりグループ
支部長の動きが重要!



●牡丹グループ
回覧板で名簿集めを!



●菜の花グループ
オレンジグッズをもっと活用!

風力計



日本薬剤師会
副会長 乾 英夫

医薬品医療機器等法の改正
昨年12月25日に厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会において二つのとりまとめが公表されました。薬機法等制度改正に関するとりまとめ「一、薬剤師が本来の役割を果たし地域の患者を支援するための医薬分業の今後のあり方について(医薬分業に関するとりまとめ)」です。

前者のとりまとめの中で、薬剤師について①調剤時のみならず服用期間を通じて一般用医薬品等を含む必要な服薬状況の把握や薬学的知見に基づく指導を行う義務、②患者の服薬状況等の情報や実施した指導等の内容について記録する義務、③患者の服薬状況等に関する情報を他医療提供施設の医師等に提供する努力義務等を法律上明確にすることが示されています。

薬局については、患者が自身に適した薬局を主体的に選択するための方策として、薬局開設許可に加え、特定の機能を有する薬局を法令上明確にし、当該機能を果たしうる薬局であることを示す名称の表示を可能とすべきとして、①地域において、入院時や在宅医療に他医療提供施設と連携して対応できる薬局、②がん等の専門的な薬学管理に他医療提供施設と連携して対応できる薬局の2つの例を挙げられています。

遠隔服薬指導については、対面義務の例外として一定のルールの下で、テレビ電話等による服薬指導を検討すべきとしています。

また、信頼確保のための製造・流通・販売に関わる者のガバナンスの強化策として、薬事に関する業務に責任を有する役員を薬機法上位置づけ、必要な場合に責任役員の変更命令の措置を規定するとしています。

なお、同部会では薬剤師・薬局のあり方、医薬分業のあり方については薬機法関連の制度改正に関わる事項にとどまらない幅広い議論が行われ、今後の関連制度に係る検討に資するよう、医薬分業に関するとりまとめが別途示されています。

この中で、薬剤師・薬局の機能や患者のメリットが分かりにくい、実感できない等厳しい指摘がありました。本とりまとめを新たな一歩を踏み出す契機として真摯に受け止め、法改正を待つことなくそれぞれの薬剤師が具体的な行動をとる必要があると考えます。

今後、本とりまとめを踏まえ薬機法、薬剤師法等の法令改正に向けた作業が行われ、本年6月に会期末となる通常国会に法案提出される予定です。

第86回自由民主党大会で 本田あきこ組織内統一候補が 公認候補として紹介される

2月10日、グランドプリンス新高輪で第86回自由民主党大会が10時から開催された。

小林史明衆院議員と小野田紀美参院議員が開会宣言し、山口県出身のソプラノ歌手・野々村彩乃さんの気品ある国歌独



唱のあと再び出席者全員で国歌を斉唱した。

来賓の山口那津男公明党代表、中西宏明日本経済団体連合会会長の挨拶に続き、谷垣禎一元総裁が久々に公の席に登壇し、全参加者がスタンディングオベーションで迎えた。そして、未来を見据えた国創りにまい進するよう力強い言葉で自由民主党にエールを送った。

このあと議事に入り、二階俊博幹事長から党会務報告を行い、来る選挙に備え必勝態勢を構築することを盛り込んだ「平成31年党運動方針」が了承された。

引き続き、自由民主党に功労のあった党員や党組織などに対する表彰が行われた。友好団体として、日本薬剤師連盟(山本信夫会長)と滋賀県薬剤師連盟(大原整会長)が、また協力者として、七海朗元日本薬剤師連盟副会長が表彰された。

再び登壇した安倍晋三総裁は、選挙戦で勝利し、確かな未来を創っていくという決意の下、「まなじりを決して戦い抜く!その先頭に立つ決意だ。」として結束を呼びかけ、会場は万雷の拍手で包まれた。

いよいよ本日のメインイベント「公認候補者の紹介」の時間となった。比例区で自由民主党公認を受けた「本田あきこ副会長」は力強い拳を差し上げ壇上に登場!安倍総裁と固く握手をして、他の統一地方選挙・参議院選挙・衆議院補欠選挙の公認候補者と共に壇上に並んだ。

県連女性局長の発声で必勝コールを三唱した。続く自由民主党党歌斉唱と橋本聖子参院議員会長の発声で「日本国・自由民主党万歳を三唱し、自民党大会は最高潮に達し散会となった。



事務担当者連絡会議開催される

平成31年2月7日(金)午後、日本薬剤師会会議室において、本田あきこ中央後援会主催の「事務担当者連絡会議」が開催された。当日は全国47都道府県より後援会担当の事務担当者86名が参加し、本田あきこ後援会活動の現状とこれからの課題について報告がなされた。山本会長の挨拶の後、日本薬剤師連盟顧問弁護士である橋爪氏より「公職選挙法と後援会活動について」と題して、公示日を境にできること、できないことなど実例を混じえながらの講演があり、日頃なかなか聞くことのできない選挙法に詳しい弁護士からの話とあって、参加者は真剣に聞き入っていた。

続いて今後の活動スケジュール、支援者名簿入力状況、組織強化委員会の対応、SNS対策、支援団体等について役員より説明がなされた。そして質疑応答の後、閉会挨拶があり、締めとして「ここにいる事務局の皆さんが会長・幹事長のお尻を叩いて発奮させよ!!」と楯を飛ばしてのガンバルゾコールにより解散となった。



比例代表は政党名ではなく候補者名を書こう!

参議院選挙のしくみと投票方法

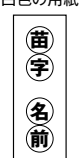
参議院選挙のしくみ

参議院議員選挙は各都道府県の区域を選挙区の単位とした「選挙区選挙」と全国を単位とした「比例代表選挙」があります。有権者は「選挙区」と「比例代表」それぞれに投票する必要があり、一人が「二票」投票することになります。

比例代表選挙では、当選させたい候補者の獲得票が多ければ多いほど、政党内候補の順位が上がります。当選することができず、比例区はぜひ「名前」を書いて投票しましょう!

比例代表選挙の投票

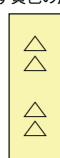
白色の用紙



「比例代表」は「候補者名」を書いて投票しましょう。
※政党名でも可

選挙区選挙の投票

うす黄色の用紙



「選挙区」はあなたの選挙区の「候補者名」を書いて投票します。

参議院選挙の投票方法

フアーマくんがゆく

今月は日本薬剤師会の安部好弘副会長をお訪ねしました。

フアーマくん 以下、**フアーマ** 日本薬剤師連盟のフアーマと申します。本日は、安部副会長の人となりをお伺いしたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。まず、何故、薬剤師になり、薬局薬剤師になろうと思われたのかをお聞かせください。

安部副会長 私は、山形県米沢市の生まれですが、医療や薬業とは無縁な環境で育ちましたので、明確なイメージをもって薬学部に入學という感じではありませんでした。本当は海洋学部に行きたかったのですが、東京の世田谷での学生生活のほうが魅力的だったのかもしれない。開局薬剤師になったのは、卒業後入局した水野薬局の恩師、水野睦郎先生の影響だと思えます。

フアーマ 先生は昭和薬科大学のご卒業ですが、大学生活はいかがでしたでしょうか。思い出深いことなどを教えてください。

安部副会長 1年間の寮生活では、今では言えない体育会系の先輩後輩関係もあり、当時は辛かった記憶があります。が、今になってみれば十代の思い出ですね。また、毎年学年ごとに長野県の白樺湖校舎で長期間の合宿授業があり、同級生と夕食を共にしたことも楽しい思い出となっています。

フアーマ 先生のご家族について教えてください。

安部副会長 おカミさん(薬剤師)、義母、息子と4人暮らし。昨年22年間一緒に暮らした猫を看取って喪中です。

フアーマ 毎日大変お忙しいと思いますが、楽しんでいる趣味や息抜きにされていることを教えてください。

安部副会長 山に囲まれた盆地育ちの反動か、趣味歴はサーフィン、スキューバダイビング、釣りなどもっばら海に関するものです。現在は、ケイロン薬局にあるナチュラルシステム水槽でサンゴを飼育することでしょうか。生物が相手であることや患者さんからの期待もあり、息抜きというよりも「生き物係」化しているという感じです。出張のない週末は、数時間かけて水槽の管理。水仕事です。冬場は拷問ですが、そのおかげでハードコアがどんどん増殖しています。チョイとした水族館のサンゴ水槽よりもうまく飼育できているかも、と自負しています。



フアーマ 地域包括ケアを担わなければならない薬剤師が、今後力を入れて取り組むべき課題について教えてください。

安部副会長 薬剤師がプロフェッショナルとして、患者(顧客)をよく知り、高い専門性をもって能動的に関与し、責任をもってアウトカムを提供すること。その繰り返しを積み重ねることにより、信頼され選択されることだと思います。

30年度調剤報酬改定では、薬剤服用歴の記載事項要件に、あえて「薬学的管理に必要な患者の生活像」と「今後の継続的な薬学的管理及び指導の留意点」という項目を加えました。なぜ、このような「当たり前」なことを新たな要件としたのでしょうか?それを紐解くうえで、日常的な服薬指導の場面を思い浮かべてみてください。1日3回毎食後服用の指示があります。患者さんの食事回数把握した上で服薬指導ができていますか?花粉症で抗ヒスタミン薬が処方されまし

た。最近パイロットの飲酒が問題になっていますが、搭乗中に眠気がおきる薬を服用することは、飲酒と同じような重大リスクとなります。このようなリスクを回避するには、薬学的観点から目的をもって相手を知ることが求められます。それが地域包括ケアシステムに向け、薬剤師に充実が求められる対人業務の第一歩となるのではないのでしょうか。

フアーマ 最後に、日本薬剤師会と日本薬剤師連盟は協力して行動しています。先生から見て日本薬剤師連盟の印象はいかがでしょう。

安部副会長 本誌POWERにより、会員の方々に連盟活動が広報されていることは、組織の強化や来るべき選挙に大いに役立っていると思います。現在、日薬や日薬連盟の会員となっていない薬剤師に対し、ネット媒体などを活用してプロパガンダの強化を図ることも重要な課題だと考えています。



フアーマ 本日は、貴重な時間をさいていただき、また丁寧な説明をいただき、ありがとうございました。これから薬剤師のために活躍いただくことを期待しております。

編集後記

三寒四温、もつすく春
この季節になると花粉情報を見るだけでも鼻がむずむずしてくる。埼玉に住むようになって、毎年2月末から3月になると、くしゃみや、鼻水、鼻つまり、目のかゆみに悩まされるようになり、杉花粉による症状とわかった。さらに、桜の時期、ヒノキや稲、ブタクサの花粉もつらくなった。

薬剤師としてこれではいけないと一念発起、体質改善を心がけ、とにかく免疫を上げる工夫をした。体を温める食事、生活、栄養素の摂取で酷かった症状が年々改善されて、今は最低限の薬だけで楽に過ごせるようになった。OTCの販売を通して生活の改善が一番大切と実感し自分の体験を薬局で患者さんにお客さんに伝えている。

この年末12月25日「薬機法等制度改正に関するとりまとめ」が厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会から出された。薬剤師は、調剤時のみならず医薬品の服用期間を通して、服薬状況の把握(服薬アドヒアランス)や有効性の確認、薬物有害事象の発見等)による薬学的管理を継続的に実施し、必要に応じて、患者に対する情報提供や薬学的知見に基づく指導を行うほか、これらの情報をかかりつけ医に提供し、多職種関係機関と共有、受診勧奨に繋げ、薬局が備えるべき役割機能について、法律上改めて明文化されることになった。

窓口で対応するだけでなく服用期間中の薬学的管理をしていく。これが対物から対人へいうこと?以前から、相談薬局はカルテを作り一般用医薬品・漢方薬・健康食品等を販売し服用期間中の支援を当たり前に行っている。今でもずっとやっていることである。患者であり、お客様であり、生活の面からも薬全般の相談にのっている。

調剤に特化してしまっただけ保険薬局は一般用医薬品48品目を並べているだけのことや、まだ並べていない薬局もある。調剤薬局の薬剤師は「販売が不安でできない」とつぶやいている。今、どんな薬局が求められているのか、どんな薬剤師が必要とされているのか?これから薬剤師になる学生のためにも政治の場に私たちの声を届ける本田あきこさんを支援したいと思う。対物から対人へという不思議な言葉の意味を考えているうちに、花粉症の季節へと突入した!ハクション!!

広報委員

- 安東 哲也、石井 甲一
- 小野 春夫、鳥海 良寛
- 大澤 泰輔、大原 整
- 近藤直緒美、渡邊美知子

(M・W)

もとゆき Report 藤井もとゆき 国会レポート

薬剤師・薬学博士
自由民主党組織運動本部本部長代理・参議院議員
藤井もとゆき

女性活躍の社会

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は2月22日、探査機「はやぶさ2」が小惑星「リュウグウ」への着陸に成功したと発表しました。「はやぶさ2」を搭載した「H-IIAロケット26号機」の打ち上げは、文部科学副大臣を務めていた平成26年12月3日でした。種子島宇宙センターから打ち上げを見届け、成功を信じた関係者の一人として、非常に誇らしく感じています。残されたミッションを果たし、たくさんの研究材料を携え無事地球に帰還するのを楽しみにしています。

また、2月20日厚生労働省の再生医療品等製品部会は、ノバルティス社が開発した、国内初のがん免疫療法キメラ抗原受容体発現T細胞(CAR-T)療法による白血病治療薬「キムリア」とともに、大阪大学発バイオベンチャーのアンジェス社が開発した、重篤な慢性動脈閉塞症を対象とする、HGF遺伝子治療薬「コラテジェン」の承認を、5年間の期限付ながら承しました。

こうした新たな製品や技術など、日本の研究・技術開発力の高さを示す一方で、日本の発表論文数や被引用論文数の減少、大学院博士課程進学者や海外留学生の減少など、基礎研究分野での国際競争力の低下を危惧する声が多く聞かれます。優れた製品や技術の創出は、一朝一夕に成せるものではなく、数々の基礎研究を積み重ねた結晶です。少子高齢化により若者世代の人口が減少するなか、研究力を強化し持続的な経済成長を図るためには、女性の活躍無くしては為し得ないものとなっています。

厚生労働省は、女性の活躍を一層推進するため、女性の職業生活における一般事業主行動計画の策定義務の対象拡大、セクシャルハラスメント・パワーハラスメントの防止対策強化等の措置を講じる、女性活躍推進法等の改正法案を今国会に提出することとしています。

病院、薬局等では多くの女性薬剤師が活躍しています。本田あきこ先生には、全国の薬剤師の代表として、お力を発揮されるものと期待しています。